

新規事業採択時評価結果（平成17年度新規事業化箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業の概要

事業名	一般国道438号 岡田バイパス	事業区分	一般国道	事業主体	香川県
起終点	自：香川県丸亀市綾歌町岡田上 至：香川県丸亀市綾歌町岡田東	延長	0.7km		
<p>事業概要</p> <p>国道438号は、国道11号及び国道32号を連結し本県中讃地域の南北交通の骨格をなす主要幹線道路、また瀬戸中央自動車道坂出IC及び徳島県の四国縦貫道美馬ICを連結する広域的幹線道路である。</p> <p>本工区は、今後の交通量増加に伴い、BP整備により交通量分散を図ることで、道路沿線の安全性の確保・走行性の向上を目的とした0.7kmのBP整備事業である。</p> <p>事業の目的、必要性</p> <p>本工区の現道区間は、沿線に岡田小学校や幼稚園などの文教施設や住宅地が連なっているが、車道及び歩道幅員は狭く、自歩行利用者の安全性、特に児童の通学、及び重交通の離合等に支障をきたしている。</p> <p>また、本工区は、直轄事業の国道32号綾南・綾歌・満濃バイパスと交差する工区であり、整備された後の東西方向から坂出市街へのアクセスや平成16年4月のレオマワールドの再開による坂出ICからのアクセスにより、本区間の交通量がさらに増加することが予想されている。</p> <p>このため、本工区にBP区間を設けることにより、増加する交通量に対する分散を図り、道路沿線の安全性の確保・走行性の向上を目的とし、かつ、国道32号綾南・綾歌・満濃バイパスの平成20年度完成と歩調を合わせることで地域一帯となった交通網の整備効果を担う。</p>					
全体事業費	15億円	計画交通量	19,500台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見

地元綾歌町では、平成17年3月22日に合併する丸亀市、飯山町、綾歌町（新市の名称 丸亀市）の新市建設計画に位置付けられた合併支援道路であり、事業化要望も強く早期完成を望んでいる。

平成16年7月に地元綾歌町及び町議会において、国土交通省並びに四国地方整備局に国道32号BP整備事業促進と併せて要望活動を行っている。

事業採択の前提条件

費用対便益：便益が費用を上回っている
手続きの完了：都市計画決定済（平成14年10月4日 延長L 3.2km）

事業評価結果

費用対便益	B/C	5.4	総費用：13億円 （事業費：12億円 維持管理費：1億円）	総便益：70億円 （走行時間短縮便益：71億円 走行費用減少便益：-1億円 交通事故減少便益：0億円）	基準年：平成16年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C= - (交通量 - %)	B/C= - (交通量 - %)	
		事業費変動	B/C= - (事業費 - %)	B/C= - (事業費 - %)	
		事業期間変動	B/C= - (事業期間 - %)	B/C= - (事業期間 - %)	
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策		交通渋滞の緩和（綾歌郡綾歌町岡田地内：現況(H11)旅行速度35km、混雑度1.07） 【1kmあたり（台kmあたり）渋滞損失時間】 約27万人時/年和(H42推計整備無し) 約6万人時/年和(H42推計整備有り) 約5万人時/年和(現況(H11)) 〔香川県平均(現況(H11))：約1.6万人時/年和(約3倍) 全国平均：約2.0万人時/年和(約3倍)〕 【旅行速度の向上】 約20km/時(H42推計整備無し：現道部) 約44km/時(H42推計整備有り：B'バ'ス部)	
	事故対策		安全性向上(事故の減少)(R32交差点から要望終点まで：5年間の交通事故件数26件) 【死傷事故率】約163件/億台和(現況(H11)) 〔香川県平均：約127件/億台和(約1.3倍)、全国平均：約118.4件/億台和(約1.4倍)〕 【事故率曲線】香川県内センサス区間の上位3割に含まれる 【その他の特長】B'バ'スが整備されることで、交通量の分散が図られる		
	歩行空間	-	・注目すべき影響はない。		
	社会全体への影響	住民生活	-	・注目すべき影響はない。	
		地域経済	-	・注目すべき影響はない。	
		災害	-	・第1次緊急輸送路ネットワークに位置付け	
環境		-	・大気汚染の改善、騒音の減少、CO2(105t/年)、NO2(0.5t/年)、SPM(0.03t/年)排出量の削減		
地域社会	-	・注目すべき影響はない。			
事業実施環境			・国道32号B'バ'スとの連携など、地域一帯となった交通網の整備効果を図る。		

採択の理由

費用対便益比が5.4と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続が完了していることから、事業採択の前提条件が確認できる。

また、当該事業箇所の現況渋滞損失時間及び事業実施による改善はともに大きく、渋滞対策の必要性・効果は高いと判断できる。

なお、社会全体への影響としても、国道32号B'バ'スとの歩調を合わせた整備をすることにより、効果は相当高いものと判断できる。

以上により、本事業を採択した。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。